

# 音楽 1学年

## はじめに

中学校の音楽は、表現（歌ったり、楽器を演奏したり、ふしを創ったり）することと、鑑賞（音楽を聴いて感じたり）するといった幅広い活動を通して、音楽を好きになり、豊かな心を育て、音楽的な活動の出来る力をつけていくための授業です。

## 年間計画

題 材 名	教 材	時	目 標
①歌うなかまをつくらう（歌唱）	「校歌」 「ハローハロー」 「Forever」	5	・新しい仲間といっしょに歌う喜びを味わう。・のびのびとした明るい声で歌い、発声の基本を身に付ける。
②身近な楽器に親しもう（器楽・創作）	「エーデルワイス」 「Michael, Row The Boat Ashore」 簡単コード（C,G7）	5	アルトリコーダーの基礎的な奏法を身に付ける。・美しい音色の演奏を工夫して表現する。・旋律と和音のかかわりに気づく。
③フォスターの曲に親しもう（歌唱・鑑賞）	「主人は冷たい土の中に」 ◎「おお スザンナ」 「スワニー河」「草競馬」「故郷の人々」等	3	合唱曲の鑑賞を通して、合唱の豊かな響きを味わう。・部分二部合唱を通して歌い合わせる楽しさやハーモニーを感じ取る。
④イメージをふくらませて聴こう（鑑賞）	四季より「春」	2	・イメージをふくらませ、情景を想像しながら聴く。
⑤映画音楽を楽しもう（鑑賞）	E T “フライングテーマ” ロッキー “ロッキーのテーマ”・スターウォーズ “メインテーマ”	1	・映画の場面や登場人物の心情とのかかわりを感じ取って聴き、音楽を広く愛好する心情を育てる。
⑥シューベルトの歌曲に親しもう（鑑賞）	「魔王」「野ばら」 「アヴェ マリア」 など	2	・豊かな歌声と多彩なピアノ表現及びピアノ伴奏の効果を感じ取る。
⑦心の歌を歌いつごう（歌唱）	「赤とんぼ」 「浜辺の歌」	3	・歌詞と音楽を形づくっている要素とのかかわりを感じ取って歌唱表現を工夫する。・拍の流れやフレーズを感じて表現する力を養う。
⑧リズムアンサンブルを楽しもう（創作）	・リズム打ちの基本練習「クラッピングカルテット」	2	・手拍子で基本的なリズムやリズム打ちをマスターした後、グループで

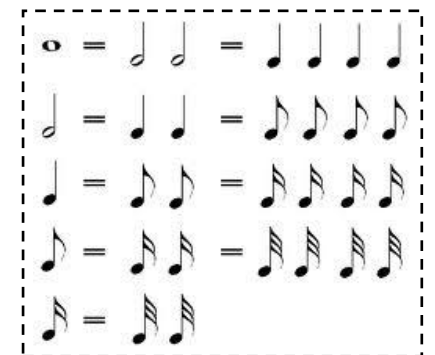
			リズムアンサンブルを行う。(リズム創作へ発展させる)
⑨アジアの諸民族の音楽や郷土の音楽に親しもう（鑑賞）	・アジアの諸民族の音楽 ・日本の郷土の音楽	2	・アジアや日本の郷土の音楽を試聴し、さまざまな音楽に触れ、その良さを感じ取る。
⑩決まったリズムを使って旋律をつくらう（器楽・創作）	My Melody	3	・リズムや旋律を近くし、音楽の構成を理解して、二部形式の簡単な旋律をつくって演奏する。
⑪日本の音楽に親しもう（鑑賞・器楽・創作）	箏曲「六段の調べ」 箏の基本練習 「さくらさくら」	5	・日本の音や音楽に関心をもち、日本の伝統的な音楽に触れる。・和楽器に親しみ、実際に触れてみることによりさらに興味・関心を高める。
⑫声やパートの役割を感じ取って合唱しよう（歌唱）	「パフ」「きっと歌える」「朝の風に」他、クラス選択の合唱曲	8	・声部の役割を知り、混声合唱の響きを感じ取って歌い合わせる喜びを味わう。
⑬希望をふくらませて歌おう（歌唱）	「校歌」 学年合唱曲	4	・曲にふさわしい歌い方を工夫し、表情豊かに歌う。・音楽と行事のかかわりを大切にできる心情を養う。

## 教科の先生からのアドバイス

- ・ 始めの授業で必要なものは伝えますので、毎回忘れ物のないように、セットしておきましょう。
- ・ 家庭学習は必要ありませんが、楽器（アルトリコーダー）や楽譜は大切に扱きましょう。
- ・ 評価について  
定期テストだけでなく、実技テストや鑑賞文も対象になります。

## おわりに

中学生の君たちは、男子も女子も変声期にあり、うまく歌えなかったり恥ずかしがったりするものです。そんな仲間を互いに思う気持ちを大切にして授業に臨んでほしいと思います。



## 音楽 2 学年

### ◇学年目標

- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- ・多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じとり、表現の技能を伸ばし、創造的に表現する能力を高める。
- ・多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

### 年間計画

題 材 名	教 材	時間	目 標
①ハーモニーを感じて表現しよう (歌唱・器楽)	「夢の世界を」 「翼をください」 アルトリコーダー曲	6	・パートの役割や全体の響きを感じ取りながら、歌い合わせる楽しさを味わう。・アルトリコーダー
②歌詞の内容を味わって歌おう(歌唱)	「夏の思い出」 「荒城の月」	3	言葉と旋律の関係を理解して表現を工夫する。・曲のもつ情緒を味わい、それを支える音楽を形づくっている要素を知覚・感受し、歌唱表現を工夫する。
③曲の仕組みを理解して聴こう(鑑賞)	「フーガ短調」 「交響曲第五番ハ短調」 など	3	・曲の構成を感じ取りながら曲全体を味わって聴く。・さまざまな時代の音楽の特徴について理解し、楽曲全体を味わって聴く能力を養う。
④カンツオーネに親しもう(鑑賞・歌唱)	「サンタルチア」 「わが心の太陽」など	3	・カンツオーネに親しみ、曲想の変化を理解して聴き、表現に生かす力を養う。
⑤楽器の特徴を生かして表現しよう(器楽・創作)	「テキーラ」(ラテン楽器で即興)など	6	各楽器の特徴を生かして即興表現をしたり、曲にふさわしい音色や奏法を工夫しながら表現する力を養う。
⑥オペラの名曲を味わおう(鑑賞)	「アイーダ」「カルメン」 「魔笛」など	3	・オーケストラと「声」とが生み出す豊かな表現を味わう能力を育てる。・音楽と他の芸術との関わりを感じ取りながら総合的に理解して楽しむ。

⑦日本の音楽に親しもう(鑑賞)	歌舞伎「勸進帳」、文楽、日本の民謡「たいこで祭り」「ほうねん太鼓」など	4	歌舞伎の魅力や日本の民謡のよさを味わい、我が国の音楽に親しむ心情を養う。
⑧心を込めて音楽表現をしよう(歌唱)	クラス選択の合唱曲・ 「校歌」・学年合唱曲 卒業式の歌	7	・声部の役割を生かし、全体の響きに調和させて合唱する能力を育てる。・詩情を感じ取りながら、感動的で心に残る音楽表現ができるようにする。・行事への参加を通して、いろいろな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。

### 教科の先生からのアドバイス

- ・ 始めの授業で必要なものは伝えますので、毎回忘れ物のないようにセットしておきましょう。
- ・ 家庭学習は必要ありませんが、楽器(アルトリコーダー)や楽譜は大切に扱きましょう。
- ・ 評価について  
定期テストだけでなく、実技テストや鑑賞文も対象になります。

### おわりに

中学生の君たちは、男子も女子も変声期にあり、うまく歌えなかったり恥ずかしかったりするものです。それをカバーするのは学級の雰囲気です。仲間を思う気持ちを大切にできるクラスであってほしいと思います。

## 音楽 3 学年

### ◇学年目標

- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- ・多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
- ・多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

### 年間計画

題 材 名	教 材	時	目 標
①歌詞の美しさを味わいながら歌おう（歌唱）	「花」（二部合唱） 「早春賦」（斉唱） 「花の街」（斉唱）	5	・我が国の四季の美しさを感じ、歌詞の内容を理解して表現する。 ・詩と旋律、ハーモニーの美しさを感じながら表情豊かに歌う。
②曲の雰囲気や特徴を生かして表現しよう（歌唱）	「Tomorrow」	5	・自分のもつイメージをふくらませて副旋律の表現を工夫する。
③豊かな響きで合唱しよう（歌唱・鑑賞）	各クラス選択の合唱曲 合唱の名曲	6	・声部の役割を生かし、全体の響きに調和させ、充実感を持って歌うようにする。 ・詩情を味わい、美しい発音と響きのある歌声で表現する。 ・合唱の名曲を鑑賞し、声のひびきやハーモニーの美しさ味わう。それらを自分たちの表現に生かす。
④総合芸術を味わおう（鑑賞）	バレエの名曲 「白鳥の湖」・「春の祭典」・「くるみ割り人形」	5	・バレエの名曲を通して、他の芸術とのかかわりを感じ取りながら鑑賞し、総合的に理解して楽しむ
⑤世界の音楽を歌おう（器楽・鑑賞）	「帰れソレントへ」 「Hey Jude」（AR） 「We are the World」	5	・さまざまな国や地域の音楽の特徴を知り、その曲にふさわしい表現の工夫をする。
⑥音楽の特徴を聞き取り、情景と曲想の変化とのかかわりを味わって鑑賞しよう（鑑賞）	連作交響詩「我が祖国」から「ブルタバ」	3	・音楽を形づくっている要素の知覚を通して、それらの働きが生み出すよさやおもしろさなどを感じ取り、楽曲の特徴や演奏のよさを言葉で表して批評文に書き表す。

⑦心に残る音楽を表現しよう（歌唱）	「旅立ちの日に」・「校歌」・卒業式の合唱曲	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生としての意識を高め、音楽と行事とのかかわり合いを通して豊かな表現をする。</li> <li>・全校生で合唱することにより、校風や伝統を伝える心を育て、より豊かな響きで歌い合わせる喜びを感じ取るようにする。</li> <li>・心を込めて思い出に残る合唱ができるようにする。</li> </ul>
-------------------	-----------------------	---	--

### 教科の先生からのアドバイス

- ・ 始めの授業で必要なものは伝えますので、毎回忘れ物のないようにセットしておきましょう。
- ・ 家庭学習は必要ありませんが、楽器（アルトリコーダー）や楽譜は大切に扱きましょう。
- ・ 評価について  
定期テストだけでなく、実技テストや鑑賞文も対象になります。

### おわりに

本校の合唱力は3年生によって大きく引き上げられてきました。仲間を大切に、歌い合わせる喜びを共有して卒業に向かっていきたいものです。